

Tecnomatix X 概要

2026年3月

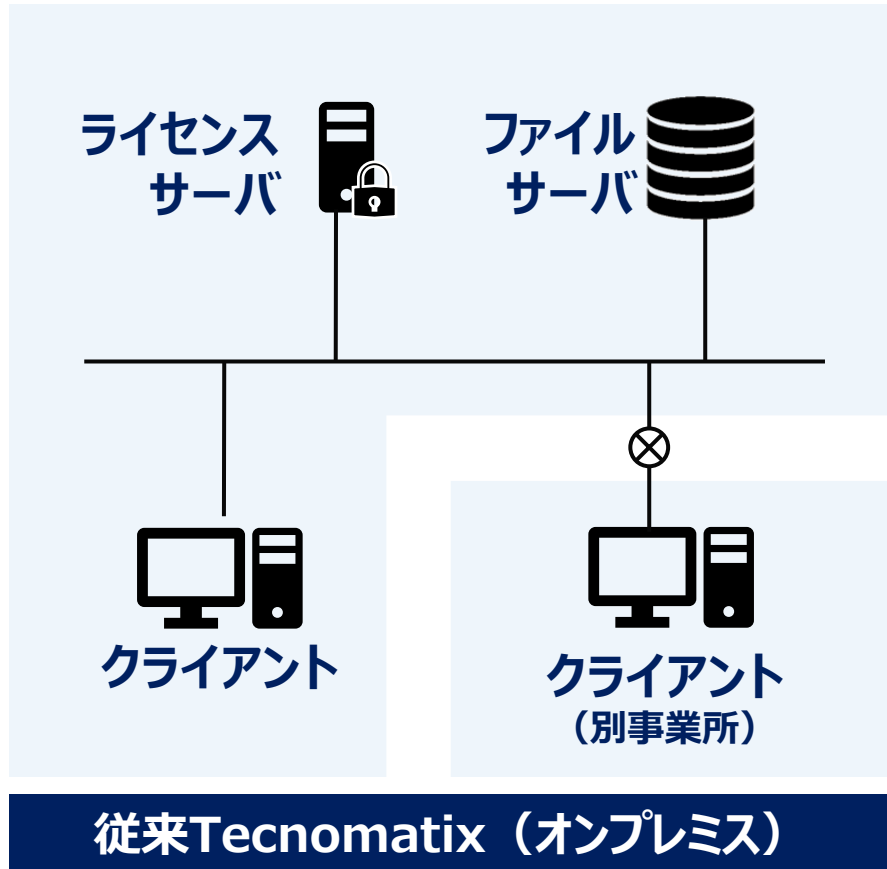
デジタルプロセス株式会社



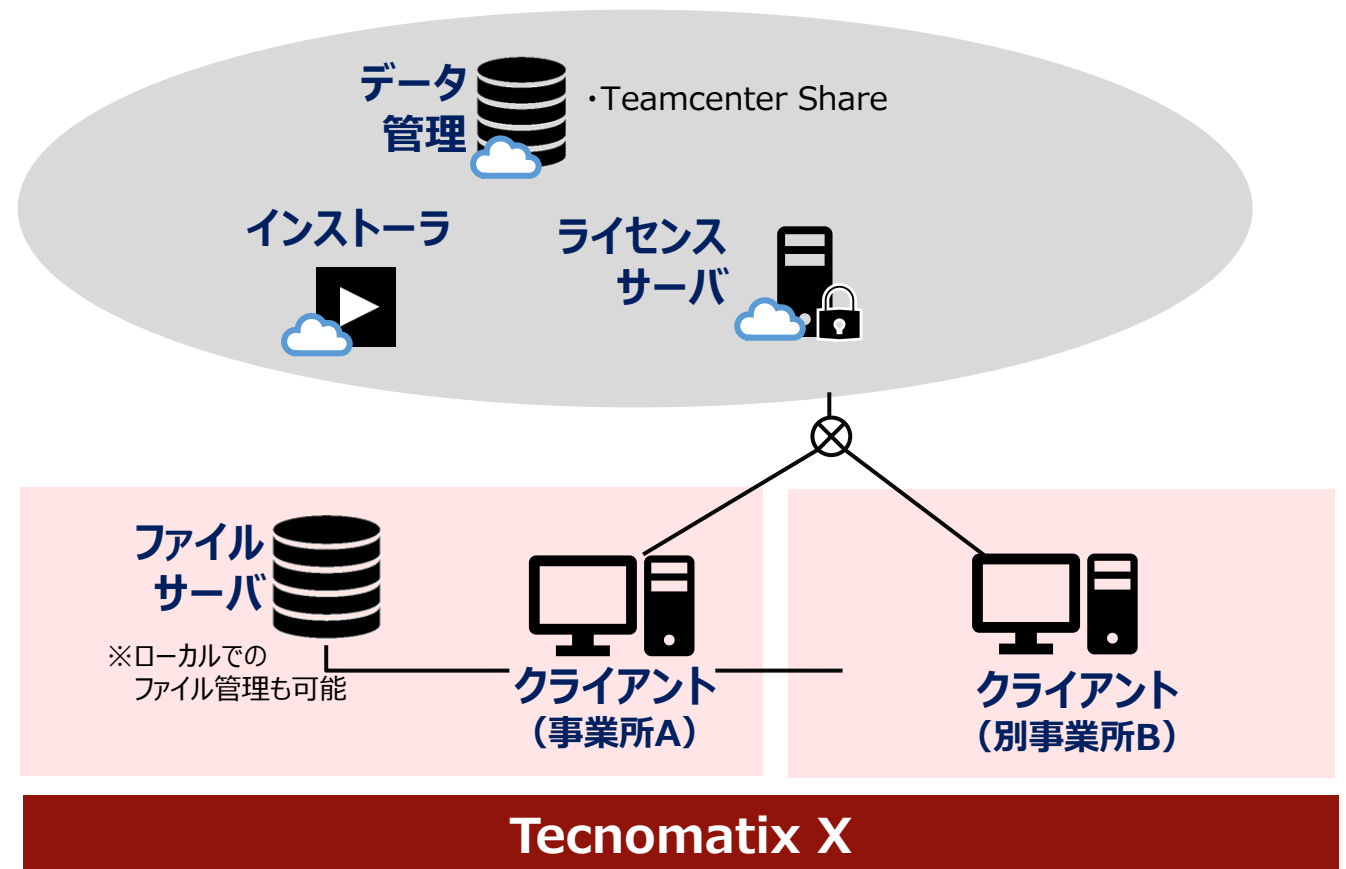
Tecnomatix Xとは

業界をリードするデジタルマニュファクチャリングソフトウェア

「Tecnomatix (Plant Simulation、Process Simulate)」のクラウド版



お客様環境に全てのリソースを構築



インターネットに繋ぐだけで、クラウド上のリソースを使用可能

■ 従来Tecnomatix（オンプレミス）との違い

必要な環境をクラウド上で提供し、お客様のリソース負担を削減

	従来Tecnomatix（オンプレミス）	Tecnomatix X
ライセンスサーバ	お客様環境に構築が必要	クラウドにて提供
クライアント	お客様環境に構築が必要	お客様環境に構築が必要 ※従来Tecnomatix（オンプレミス）と同じ。
インストール	インストーラをダウンロードして実行	アプリストア形式のメニューから実行 ※アプリはクライアントにインストール
ライセンス地域	標準：リージョン限定 オプション：グローバルライセンス	標準：グローバルライセンス
AI機能	AI機能なし	Copilotによる対話型アシスタントを搭載
オプション機能	各機能オプションを購入	一部オプション機能が標準機能として提供 ※詳細は、機能一覧をご参照ください。
ライセンス形式	フローティングライセンス、ノードロックライセンス、ネームドライセンス	ネームドライセンス



Plant Simulation X

Plant Simulation X AI機能 (Copilot)



Copilotによる対話型アシスタントを搭載し、ヘルプ検索やコーディングを効率化 【Copilotの利用イメージ】

① プロンプトを入力

② 生成結果

③ ソース (ヘルプ)

④ 追加プロンプト

一括でシミュレーションモデルのパラメータを変更する方法は？

シミュレーションモデルのパラメータを一括で変更する方法は以下の通りです：

1. SimTalkメソッドを使用：
 - ツールメニューから「高度な設定」を選択し、「設定」をクリックします。
 - ダイアログボックスでオブジェクトを選択し、適用をクリックします。
 - SimTalkを使用して、実験の追加設定をプログラムできます ①。
2. 属性エクスプローラーを使用：
 - 属性エクスプローラーを開き、オブジェクトの属性を一括で変更できます ②。
3. オブジェクトのダイアログで変更：
 - 各オブジェクトのダイアログを開き、必要なパラメータを一括で変更します ②。

これらの方法を使用することで、シミュレーションモデルのパラメータを効率的に変更できます。

ソース

- ① Modify Settings in the Configuration Method
- ② Change the Settings of the Objects

関係

SimTalkメソッドの具体的な使い方は？

属性エクスプローラーの使い方について詳しく教えてください。

一括変更したパラメータを確認する方法はありますか？

ここにプロンプトを入力してください。

AIが生成したコンテンツには、不正確な情報が含まれている場合があります。

停止 [SimTalk] - ジェネレータ

AttributeExplorer [オブジェクト]

AttributeExplorerを使用すると、シミュレーションモデル内の個々のステーションの設定を定義する属性を1つの集中的な場所で管理できます。

アイコン

説明

モデル内の各マテリアルフローオブジェクトのダイアログを開いてテキストボックスに属性値を入力する代わりに、AttributeExplorerがどのオブジェクトのどの属性これを行うには、「エクスプローラを表示」をクリックします。次に、容量や時間などの様々な値を入力します。Plant Simulationはこれらの値をオブジェクトに書き入れます。別のシミュレーションモデルのAttributeExplorerにインポートすることで、複数のシミュレーションモデルで同一の設定を使用できます。HtmlReportでAttributeExplorerの属性テーブルを表示することもできます。AttributeExplorerの表示と比較してください。AttributeExplorerに関する情報を含むツールチップを表示するには、マウスをその上に置きます。

グラフィックの長さやAttributeExplorerのアンカーポイントを変更するには、[編集]リボンタブの[マニピュレータの表示]をクリックするか、キーボードのMキーをシミュレーションモデルにオブジェクトを追加する

Plant Simulation X 機能表



一部オプション機能が標準機能として提供

概要	モデル作成					3D化			その他							オプション	
	オブジェクト配置	プログラミング	パラメータ変更	属性 エクスプローラ	シミュレーション 実行	3D形状取り込み	点群データ	VR	統計ツール	Experiment Manager	最適化機能	ダイアログ作成	外部 インターフェース	ガントチャート	その他 機能制限	オブジェクト数制限	VSMライブラリ
Advanced	全てのオブジェクト、ツールを利用でき、プログラミングも制限無しに利用が可能です。最適化機能も含まれます。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	無	∞	○
Standard	機能制限（使用可能なオブジェクトの制限）あり、モデルサイズは最大4000オブジェクトに制限されます。プログラミングは利用可能です。最適化機能は含まれません。	●	●	●	●	●			●	●			●	●	有	4000	○
Essentials	機能制限（使用可能なオブジェクトの制限）あり、モデルサイズは最大500オブジェクトに制限されます。カスタムオブジェクトの作成などに適したライセンスです。	●	●	●	●	●			●	●			●	●	有	500	○
RunTime	他のライセンスで作成されたシミュレーションモデルの実行することが可能です。データ入出力、パラメータの変更は可能です。			●	U	●			U	U	U		U	U	有	∞	U

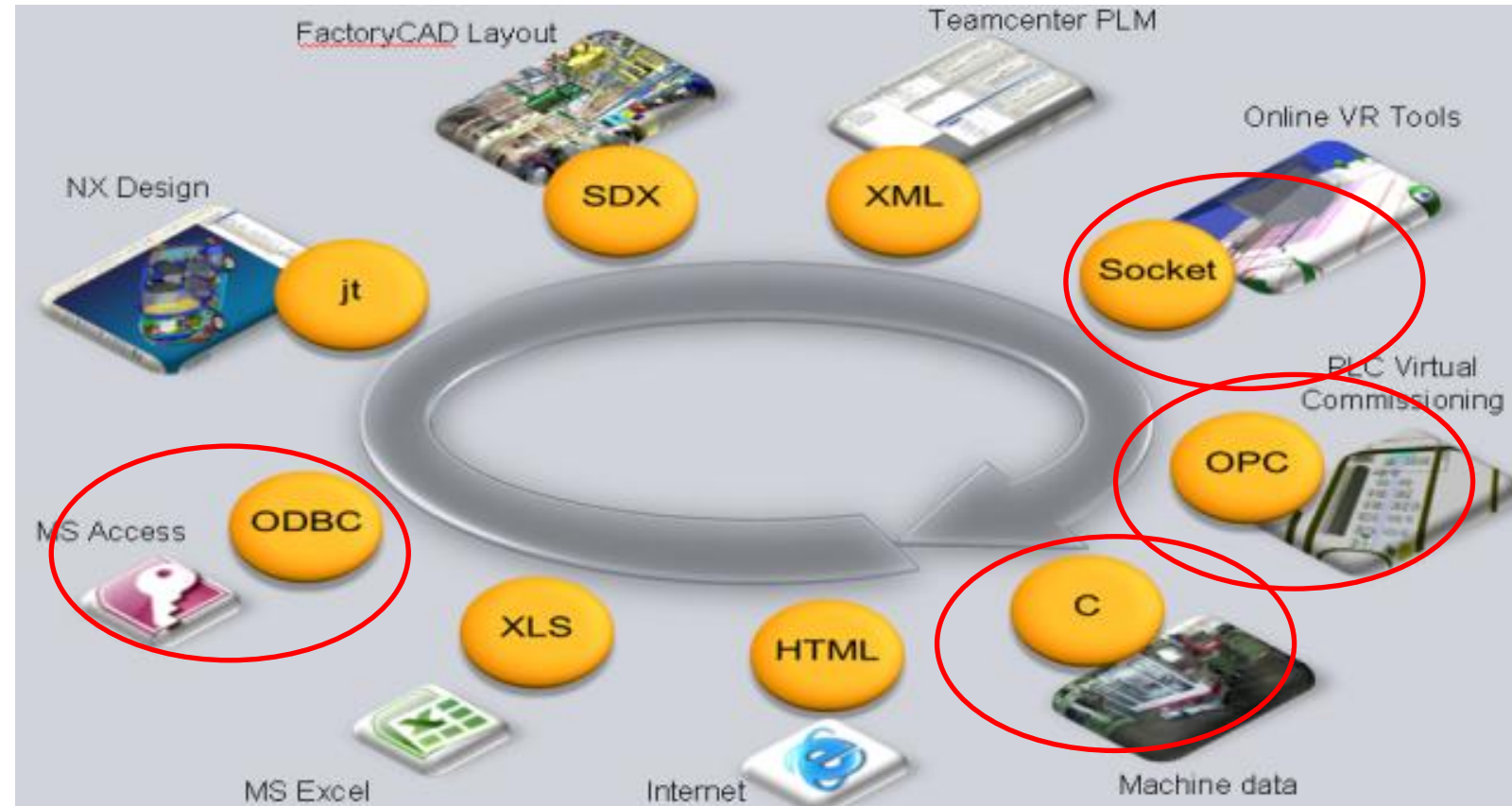
- : モデリング、使用可能
- U : 既存モデルに含まれている場合に使用可能
- : オプション

Plant Simulation Xの標準機能

■ 外部インターフェース(Interface Package)

- Plant Simulationとさまざまな外部コントロールを接続することが可能です。

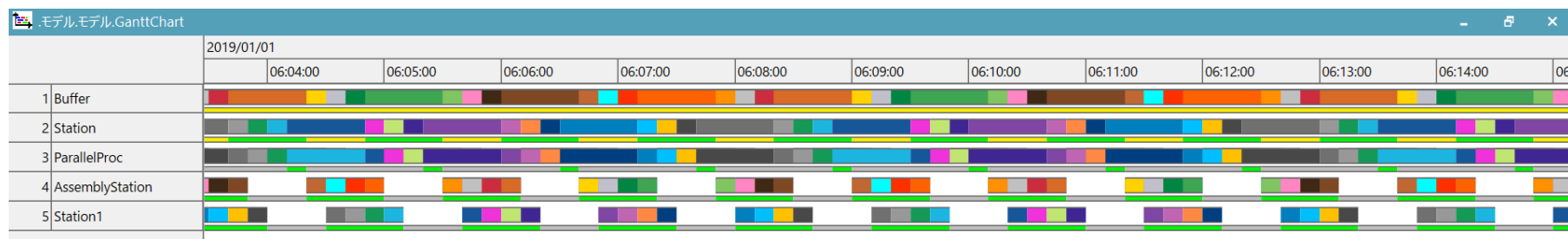
- ActiveX
- C言語
- データベース (ODBC, Oracle)
- OPC
- Socket



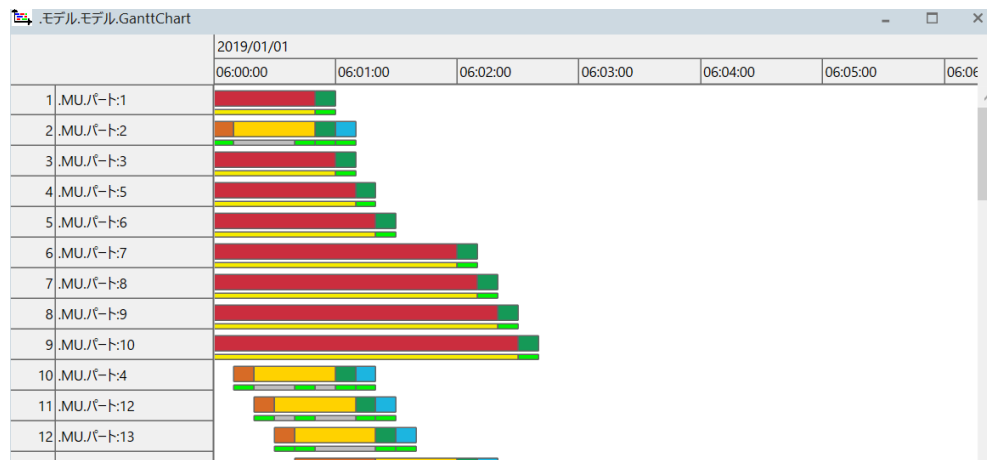
■ ガントチャート(Gantt Charts)

- Gantt ChartsはPlant Simulationのアドインツールで、シミュレーションデータをガントチャートで表示することができます。

<設備（工程）単位での表示>



<ワーク単位での表示>

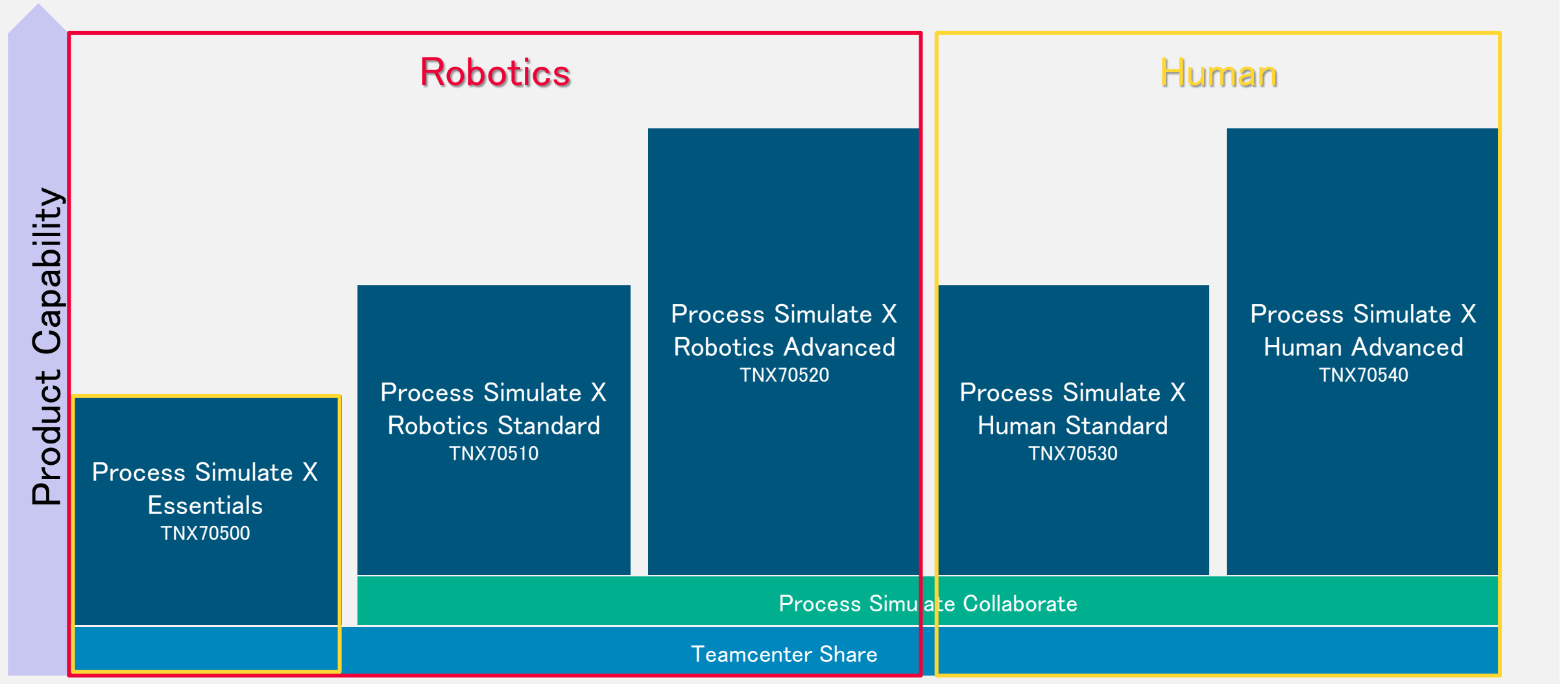




Process Simulate X

■ Process Simulate X 製品

すべてNamed Userライセンスになります。



1. Process Simulate X (機能表)

概要	共通							Robotics				Human				オプション						
	レイアウト作成	3Dデータ変換	シミュレーション	ロボット動作	工程サポート機能 Arc, Spot, Rivet	Teamcenter Share連携機能	シミュレーション データコラボレート	ロボットオフライン プログラミング機能	ラインシミュレ- ション機能	PLC接続機能	人間作業シミュレ- ション機能	エルゴノミクス 解析機能	モ-ション キャプチャ機能	バーチャル リアリティー機能	自動経路作成 (APP)	Cables	Point Cloud	Safety Robots Manager	VR Analysis	オムニバスコネクタ for NVIDIA	Augmented Reality(DTA)	
Essentials	Process Simulateベーシック機能																					
Robotics Standard	ロボットシミュレーション・オフラインプログラミング ・SPOT溶接、ARC溶接など工程検討機能 ・各ロボットメーカーのコントローラパッケージを包含																					
Robotics Advanced	・イベントベースシミュレーション対応 ・Virtual Commissioning (PLC接続)																					
Human Standard	Human細分設定、エルゴノミクス検証機能、 TCMとのインテグレーションで標準時間と シミュレーションによる作業時間の検証が可能																					
Human Advanced	Standardに加え、より詳細な検討機能として モ-ションキャプチャ機能、 バーチャルリアリティー機能が利用可能																					

● : 使用可能
○ : オプション追加

Process Simulate Collaborate

Standard以上



Process Simulate本体で作成された工場の生産ラインを視覚化し、関係者とレビュー・分析するためのクラウドベースの3Dコラボレーションツール



お客様と共に挑戦するベストITパートナー
それがDIPROです



DIPRO

ITで極めるモノづくり

デジタルプロセス株式会社

弊社はシーメンスデジタルインダストリーズソフトウェア（以下シーメンス）のパートナーです。本資料の一部には、シーメンスから提供された情報や画像を出典として使用しています。

関連するシーメンスの商標については、

<https://www.sw.siemens.com/ja-JP/trademarks/>

に記載されています。その他の商標はそれぞれの所有者に帰属します。